

学校経営

教育方針

児童にとって「行きたい・学びたい・楽しい」学校づくりと授業づくりに努めます

学校教育目標

豊かな心と確かな学力を身に付け、夢や目標に向かってたくましく生きる子どもを育成する。

令和5年度重点目標

◎気持ちよく挨拶を交わす子どもの育成

◎書いて考える子どもの育成

○行動目標（合言葉：なかやま）「なかま」「やりぬく」「まなぶ」

・なかま（仲間づくり）…よさに気づき、支え合う

・やりぬく（生活づくり）…耐える心と体をつくる

・まなぶ（学びづくり）…考えを書き、発表する

めざす教育像と経営の重点

○めざす子ども像

- ・認め合い、支え合う子ども（なかま）
- ・自らを鍛える子ども（やりぬく）
- ・将来を展望できる学力を持った子ども（まなぶ）

○めざす学校像

- ・効果のある学校（基礎・基本を定着させ、学力を下支えする。）
- ・元気の出る学校（笑顔があふれ、自分の可能性にチャレンジできる。）
- ・協働する学校（学校が主体となり、保護者・地域と協働的な教育活動を行う。）

○めざす教師像

- ・全ての子どもの豊かな成長を支援するために、課題解決に向けて学び合う教師
- ・子どもに親しまれ、保護者及び地域から信頼・期待される教師

○経営の重点 / 協働の組織とシステムの充実（チーム制：企画→実践→評価→改善）

- ・「まなびづくり」（学力保障）…「書く力」の育成

・「なかまづくり」(学級集団づくり) …「認め合い、支え合う」集団づくり・「やりぬく」(「まなぶ」「なかま」の目標達成) …「到達目標づくり」→「実践・継続」→

「評価」→「新たな目標づくり」サイクルの定着

・コミュニティスクール・地域学校協働本部による地域とともにある学校づくり